

事業シート

事業名		市民農園整備推進事業		事業開始年度		1994年度	
上位施策事業名		入間市緑の基本計画		担当局・部名		環境経済部	
根拠法令等		入間市市民農園貸付規程		担当課・担当名		農業振興課農業・自然・農林調整担当	
事務区分		■自治事務 □法定受託事務		作成責任者		小松辰也	
実施の背景		市民農園は、土、みどり等自然に触れ合いたいという市民の要望に応えるとともに、農業体験を通じて、農業への理解を深めてもらうことを目的に、平成6年度に東町・藤宮市民農園、平成10年度に中神市民農園、平成11年度に西武市民農園を開設した。（市民農園の開設に関するアンケートなどを通じて、市民の意見を取り入れて開設） 【入間市市民農園について】 ・設置数 4カ所 ・区画数 428区画 ・1区画あたりの面積 東町市民農園30㎡、藤宮市民農園40㎡、中神市民農園50㎡、西武市民農園40㎡ ・利用期間 24カ月（2年間） ・利用金額 年額6,000円 ・対象者 農業者以外の市内在住の方					
目 的 (何のために)		市民農園の貸付けを行うことにより、市民が野菜や草花等を栽培して、土、緑及び自然との触れ合いを図り、農業に対する理解を深める					
事業概要	対 象 (誰・何を対象に)	農業者以外の市民			対象者数（全住民に対する割合）		
					人（ %）		
	実施方法	■直接実施					
		□業務委託 又は □指定管理 （委託先又は指定管理者： ）					
		□補助金〔直接・間接〕（補助先： 実施主体： ）					
		□貸付（貸付先： ） □その他（ ）					
事業内容 (手段、手法など)	事業内容						
	農園の利用者の募集に関する内容を掲載し、利用者を募集する。また、市民農園を利用している方にははがきで新規募集についてお知らせしている。 【利用許可・利用取消関係】 ・市民農園の利用希望者から提出のあった申請書（申請内容の分かる電子メールやLOGOフォームも可）を確認し、入間市市民農園利用許可書を交付する。 ・利用許可の取消の場合は貸し出していた区画が原状復帰しているかを確認し、問題がなければ入間市市民農園利用許可取消通知書により、通知する。 【利用料徴収関係（納入通知書発送）】 ・毎年、年度初めに利用者へ納入通知書を郵送している（1年間一括払い）。 【土地契約関係（借上料支払い）】 ・地主に賃貸借料を年2回に分けて支払っている。（事業費 1,588千円） 【トイレ汲み取り（東町・藤宮・西武市民農園）】 ・各市民農園の簡易トイレの汲み取りを業者に委託している。汲み取り回数は年2回。（事業費 42千円） 【空き区画の除草等維持管理】 ・空き区画の除草や雑草の繁茂を防ぐため、防草シートを設置している。 【草刈委託業務】 ・空き区画等の除草を業者に委託している。（事業費 116,000円） 【消耗品の購入】 ・市民農園の整備に必要なニトリル手袋、防草シート等購入している。（事業費 98千円）						
関連事業 (同一目的事業等)							

事業シート

事業名		市民農園整備推進事業								事業開始年度		1994年度			
コスト		2025年度（予算）				2024年度（決算）				2023年度（決算）				2022年度（決算）	
	事業費合計	1,875千円				1,840千円				1,929千円				1,885千円	
	事業費内訳	・ 消耗品費 97,915円（ニトリル手袋、防草シート、シート固定用ピン、堆肥等） ・ 燃料費 4,180円（刈払機用混合ガソリン） ・ 光熱水費 10,839円（東町市民農園水道料金） ・ 手数料 35,200円（市民農園簡易トイレ汲み取り手数料） ・ 委託料 104,500円（草刈業務委託） ・ 土地建物借上料 1,587,154円（市内4カ所の市民農園の土地借上料）													
	人件費	担当正職員 4人 2,430千円				4人 2,430千円				4人 2,430千円				4人 2,430千円	
	人件費合計	人 2,430千円				人 2,430千円				人 2,430千円				人 2,430千円	
	総事業費	4,305千円				4,270千円				4,359千円				4,315千円	
財源内訳	国県支出金					千円				千円				千円	
		国県支出金の内容													
	地方債					千円				千円				千円	
	その他特財	2,568千円				2,483千円		2,519千円		2,571千円					
		その他特財の内容				市民農園利用料									
	一般財源	1,737千円				1,787千円		1,840千円		1,744千円					
	財源合計	4,305千円				4,270千円				4,359千円				4,315千円	
事業実績	活動実績	【活動指標名】（実績値/目標値）						単位	2024年度		2023年度		2022年度		
		農園利用申込者数						人	215/223		223/205		209/223		
		農園利用申込電子化対応						件	116/100		132/100		133/100		
									/		/		/		
	単位当たりコスト					/									
事業成果	成果目標 （指標設定理由等）	市民農園の貸付けを行うことにより、市民が野菜や草花等を栽培して、土、緑及び自然との触れ合いを図り、農業に対する理解を深める													
	成果 （目標達成状況）	【成果指標名】（実績値/目標値）						単位	2024年度		2023年度		2022年度		
		利用者数						人	412/428		411/428		424/428		
									/		/		/		
									/		/		/		

事業シート

事業シート							
事業名		市民農園整備推進事業			事業開始年度		1994年度
自己評価			廃止・凍結		国・県・広域・民間 への移管		要改善 ☐ 現行通り・拡充 ☒
評価の内容		全農園、全区画を利用してもらうことはできなかったが、目標としている「市民が野菜や草花等を栽培して、土、緑及び自然との触れ合いを図り、農業に対する理解を深める」については継続利用者が多数いることから一定の成果があがっているものとする。 また、2022年から実施している利用申込の電子化についても半数以上が利用しており、利便性が向上したのと同時に、事務量の削減につながっている。					
課題	2024年度	年度途中で畑の利用ができなくなり放置してしまった結果、雑草が繁茂し原状回復が難しくなっている利用者への対応。					
	2025年度	中神市民農園の空き区画への対応。					
今後の予定		入間市緑の基本計画において、施策の方向で「市街地の農地の保全と活用」、施策内容で「市民農園設置の継続」と位置づけられていることから、目的である「市民が野菜や草花等を栽培して、土、緑及び自然との触れ合いを図り、農業に対する理解を深める」の達成に向けて事業を継続していく。 また、市民農園のあり方を整理し、民間運営の可能性について研究する。					
比較参考値 (他自治体での類似 事業の例など)		【所沢市体験農場について】 ・設置数 9カ所 ・区画数 503区画 ・1区画あたりの面積 20㎡または40㎡ ・利用期間 21カ月 ・利用金額 年額3,150円(20㎡)、6300円(40㎡) ・対象者 市内在住で、市税を滞納していない方 【狭山市市民農園について】 ・設置数 6カ所 ・区画数 472区画 ・1区画あたりの面積 15㎡ ・利用期間 22カ月 ・利用金額 年額2,000円 ・対象者 市内在住で、他人に迷惑をかけず耕作の管理と雑草などの処理(利用区画に面した通路と空き地の雑草も含む)ができる方(高校生以下は除く) 【民間企業が運営する市民農園 エミファーム新所沢】 ・運営企業 (株)西武リアルティソリューションズ ・農園所在地 埼玉県所沢市神米金字向台4番 ・1区画あたりの面積 10㎡～ ・利用期間 1カ月から利用期間を選択可能 ・利用金額 月額3,850円、年額33,000円					
特記事項							